

VIEW

「緊急地震速報」が出ているのに何も指示しない管理者！！

8月8日16時56分ごろ、気象庁から「緊急地震速報」が出され携帯電話にもその「情報」が一斉に送信されました。

しかし緊急地震速報が出ているにもかかわらず現場管理者は、「今、緊急地震速報が出ているが、揺れているか」と独り言のように言うだけで、誰一人社員に対して何の指示もしないまま終了点呼を行ないました。

当日、作業を終えた社員が終了点呼に備えて、16時56分過ぎに更衣ロッカーに入ったところいくつものロッカーの中から「緊急地震速報」の警報が鳴っているのを聞きました。会社は、作業中は携帯電話等の私物はロッカー等へ入れて持ち歩かないように指示しています。「社員の身を守るためのアイテム」を会社が「規制」しているのですから、最低でも「今、緊急地震速報が出されました」という全館放送くらいすべきです。

その一方で、会社は通算して4回目の「安否確認訓練」の準備のためか8月5日の終了点呼で「本日10時に安否確認メールを送信しているので、受信した社員は速やかに返信を行うこと」と、会社に都合のいい部分については社員個人が所有している携帯電話をいように活用しています。

今回の「緊急地震速報」は幸い誤報でしたが、「速報」が出され本線や構内も停電しているにもかかわらず、会社は社員に対して一切「連絡」も「報告」も「具体的な指示」もしませんでした。「安全安定輸送」を本分とする鉄道会社の対応としては不十分だったといわざるを得ません。職場に沢山いる「管理者」と呼ばれる人達は、現場を歩き回って「作業の点検」も結構ですが、まず「管理者」としての仕事を全うされてはいかがでしょうか？！

社員の皆さん！どう考えますか？！